

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1701

記入日 2017年10月12日

生産者	木村 平	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾・松浦	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	180 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	20000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	18000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年3～5月	オリジナル配合674	80kg	2017年3月31日～4月9日	2017年3月31日～4月9日	オリジナル配合674	80kg	家の上・開墾
10～11月	オリジナル配合674	100kg		4月4日	モグラ堆肥A	100kg	松浦
3～5月	天恵緑汁	500倍/300L		4月10～19日	天恵緑汁	500倍/400L	農薬に混用、1回目
				6月8～14日	天恵緑汁	500倍/500L	2回目散布
	以後、計画無し				以降、収穫終了後施肥予定		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L	2017年 4月10～19日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	400L
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		アピオンE	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	6月8～14日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	500L
	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		アプロードエースフロアブル	1000倍	
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 400L		モスピラン水溶剤	3000倍	
9月中旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 400L		アピオンE	1000倍	
9月下旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 300L	9月18日～10月11日	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 300L	家の上 部分散布
9月下旬	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 400L				
4月～7月	展着剤	アピオンE (農薬混用予定)	1000倍				
		以後、計画無し			以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠				
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	8 回	6 割減
当作肥料計画	10 割減	当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
当作農薬計画	6 割減	当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に入り上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願い致します。

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1702

記入日

2017年10月1日

生産者	波村郁夫	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通		内田方・田井ノ浦	定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	90 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	26000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月上旬	24000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年3月上旬	有機配合	100kg		2017年3月24日～4月16日	有機配合	100kg	
4月上旬	尿素	500倍/1000L	葉面散布予定	6月5～18日	有機配合	200kg	
4月上旬	キトサン水	300倍/1000L	葉面散布予定	6月8～15日	キトサン水	300倍/700L	農薬に混用散布
6月中旬	有機配合	200kg					
11月上旬	有機配合	200kg					
	有機配合内容				以降、収穫終了後施肥予定		
	魚粉						
	肉骨粉(豚・鶏)						
	血粉						
	硫酸カリ						
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年3月上旬	殺虫	ハーベストオイル	60倍 600L	2017年4月16～19日	デランフロアブル	1000倍 500L	
4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	6月8～15日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
6月中旬	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍		アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 700L		アピオンE	1000倍 700L	
6月中旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 700L	7月29～31日	アブロードエースフロアブル	1000倍 700L	
7月～9月	殺虫	モスピラン水溶剤 (株元散布)	1000倍 2L	7月1日～9月30日	モスピラン水溶剤	200倍 2L	一部株元散布
10月上旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 600L				
		以後、計画無し			以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	1.0 kg/10a	当作肥料計画	9 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作肥料実績	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1703

記入日

2017年9月16日

生産者	大坪啓二	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の前・家の上・開こん	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	115 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	32000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	30000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年5月下旬	自家製ボカシ	600kg		2017年5月3～12日	自家製ボカシ	600kg	
10月下旬	自家製ボカシ	600kg					
	自家製ボカシ内容 シメジ粕 米ぬか 魚粉 蒸成骨粉 ヤシ灰				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2017年4月13日 ～5月17日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
6月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍		アビオンE	1000倍	500L
6月下旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	6月12～17日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
	殺菌	Zボルドー	400倍 500L		ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	アップロード水和剤	1000倍		モスピラン水溶剤	2000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍		アビオンE	1000倍	500L
7月上旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍	7月19日	ICボルドー66D	100倍	500L 家前のみ
9月中旬	展着剤	アビオンE	1000倍 500L	8月6日	サンマイト水和剤	3000倍	500L 家前のみ2回目
	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L				
		以後、計画無し			以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	5 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	7 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1704

記入日

2017年9月16日

生産者	中山信一郎	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	山田日平	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	55 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬～	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	13500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬～	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月中旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	12000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年4月上旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	2017年3月29日	モグラ堆肥A	200kg	
11月下旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	5月13～14日 混用	スーパーアミノ液肥1号	800倍/700L	農薬に混用 1回目散布
					硫酸マグネシウム	500倍/700L	
5月～7月	スーパーアミノ液肥1号	1000倍/600L	3～4回、葉面散布	6月8～10日 混用	スーパーアミノ液肥1号	800倍/700L	農薬に混用 2回目散布
5月～7月	硫酸マグネシウム	500倍/600L	その他資材(微量要素)		硫酸マグネシウム	500倍/700L	
					以降、収穫終了まで施肥無し		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月中旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	2017年 4月14～16日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺虫	ハーベストオイル	150倍		700L		
5月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍	5月13～14日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		700L		
6月中旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月8～10日 混用散布	アブロードエースフロアブル	1000倍	
	展着剤	アピオンE	1000倍		700L		
	殺菌	デランフロアブル	1000倍		2000倍		
7月下旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍	7月15～16日 混用散布	サンマイト水和剤	3000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		700L		
8月上旬	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍	8月31日 ～9月1日 混用散布	ダニエモンフロアブル	4000倍	
8月下旬	殺虫	ダニエモンフロアブル	4000倍		700L		
		以後、計画無し					
					以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0.3 kg/10a	当作肥料計画	9 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬計画	5 削減
			当作実績(化学肥料使用量)		
			0.2 kg/10a		
			当作実績(化学合成農薬使用回数)		
			10 回		
			当作肥料実績		
			9 削減		
			当作農薬実績		
			5 削減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1705

記入日

2017年9月20日

生産者	嶋村利昭	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	津畦・古場	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	32 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年11月上旬～今期作収穫終了日(1年間)	5500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月上旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	5000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年3月下旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	2017年3月18日	モグラ堆肥A	200kg	
11月～12月	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ				
5月～9月	ジューシーカル	800倍/500L	JA宇城 液肥		以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2017年4月18日	デランフロアブル	1000倍 500L	
5月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月13日 混用散布	モスピラン水溶剤	2000倍	
	殺菌	フロンスサイド水和剤	1000倍 500L		フロンスサイド水和剤	1000倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	6月23日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	アプロードフロアブル	1000倍 500L		アプロードフロアブル	1000倍 500L	
6月下旬	殺虫	ハーベストオイル	150倍 700L	7月20日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
7月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍		サンマイト水和剤	2000倍 500L	
	8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍			
殺虫		バロックフロアブル	2000倍 500L	以後散布無し			
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 削減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
		当作肥料実績	10 削減	当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1706

記入日

2017年9月15日

生産者	山口 洋子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家上・家下	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	33 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	5800kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月中旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	5000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年4月上旬 混合予定	オール有機663	100kg	三成肥料	2017年4月9日 混合予定	オール有機663	80kg	
	モグラ堆肥A	50kg	東海マルタ		モグラ堆肥A	40kg	
11月下旬 混合予定	オール有機特号	100kg	岩崎肥料				
	モグラ堆肥A	50kg					
							以降、収穫終了後施肥予定
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2017年 4月22～23日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		アビオンE	1000倍	500L
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロード水和剤	1000倍	6月14～15日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 500L		アプロード水和剤	1000倍	
6月中旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 500L		モスピラン水溶剤	3000倍	
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	3000倍		アビオンE	1000倍	500L
	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 500L	サンマイト水和剤	2500倍		
9月上旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 500L	7月30日～ 8月2日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L		アビオンE	1000倍	500L
4月～9月	展着剤	アビオンE	1000倍 500L	9月8日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
					アビオンE	1000倍	500L
		以後、計画無し					サビダニ発生 家上のみ散布
					以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠				
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	8 回	6 割減
当作肥料計画	10 割減	当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
当作農薬計画	6 割減	当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回	6 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一 気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽 培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限 を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移 するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ 傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈 など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願 い致します。

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1707

記入日

2017年9月20日

生産者	吉田政美	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	高野・新地	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	90 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	7500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年3月上旬	自家製ボカシ	300kg		2017年2月2～3日	自家製ボカシ	300kg	
10月下旬	自家製ボカシ	100kg					
	自家製ボカシ内容 米ぬか 魚粕 モグラ堆肥A 糖蜜 乳酸菌 水				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 300L	2017年4月14～15日	デランフロアブル	1000倍 300L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	5月4～7日	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	6月8～9日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
7月中旬	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 300L	7月5日	アブロードフロアブル	1000倍 300L	
8月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	8月9日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
9月中旬	殺虫	サンマイル水和剤	3000倍 300L	9月7日	サンマイル水和剤	3000倍 300L	
9月下旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 300L	9月20日以降散布予定	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 300L	
				9月20日以降散布予定	ストロビードライフロアブル	2000倍 300L	
				9月20日以降散布予定	サンマイル水和剤	3000倍 300L	
		以後、計画無し					
					以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	9 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	5 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>

平成 29 年度 栽培管理表

管理番号 1708

記入日

2017年9月20日

生産者	泉 カズ子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住 所	熊本県宇城市不知火町	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	大桜	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	30 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	11月上旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2016年12月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作物名	みかん	出荷予定日	11月上旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2016年12月下旬	出荷期間	11月上旬～12月下旬	7500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2017年4月上旬	モグラ堆肥A	70kg	東海マルタ	2017年3月18日 混合施肥	モグラ堆肥A	70kg	
5月上旬	自家肥料	100kg			6月10日	オール有機663	100kg
					以降、収穫終了まで施肥無し		
	自家肥料内容 油粕 魚粕						
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2017年5月上旬 混用予定	殺虫	エクシレルSE	5000倍	2017年5月14日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2500倍	600L
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		エクシレルSE	5000倍	
6月上旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月18日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	600L
	殺菌	デランフロアブル	1000倍		アブロードエースフロアブル	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	1000倍	7月2日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	700L
	殺菌	ストロビードライフロアブル	1000倍		ストロビードライフロアブル	2500倍	
8月上旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍				
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍				
		以後、計画なし			以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は春先の気温が低く、芽だしが3週間ほど遅れました。生育が遅れ気味に推移するなか、7月には台風3号の襲来など難しい栽培環境で、果実には台風により擦れ傷や黒点等も見られるようです。生産者も生育が順調に進むよう剪定や摘果・草刈など管理作業に励み、なんとか収穫を迎えることが出来ました。どうぞよろしくお願致します。</p>